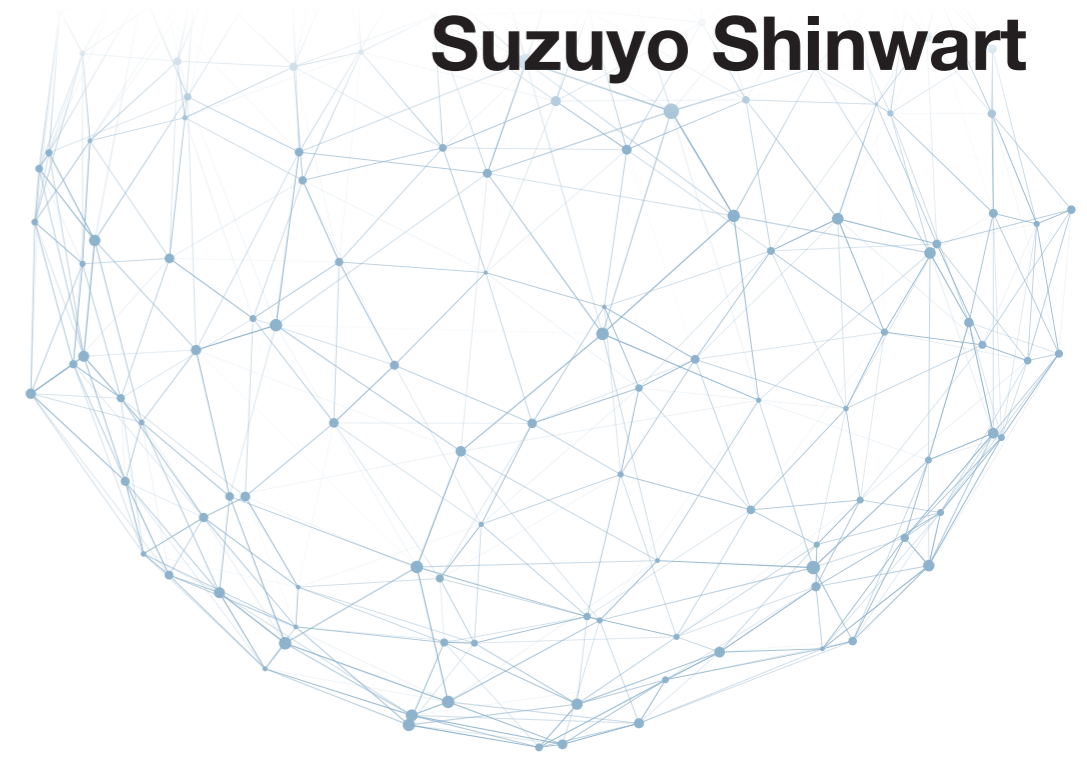


Suzuyo Shinwart



Corporate Profile

会社案内



ごあいさつ

鈴与シンワート株式会社は、鈴与グループ140余社における情報サービス事業の中核企業として、お客様のDX課題や社会課題、ニーズに対し先進のIT技術をもって取り組み、新たな価値を創造、提供してまいります。

1. 鈴与グループの経営理念

鈴与シンワートの企業ビジョンは、鈴与グループにこれまで脈々と息づいてきた「共生（ともいき）」の精神であり、「社会との共生」、「お客様・取引先との共生」、「社員同士、グループ各社の共生」を大切に考え、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指してまいります。

2. 我々が引き継いだDNA

鈴与シンワートは、鈴与グループの「チャレンジ（挑戦）」と「変革」というDNAを引き継いでおり、社会、経済およびお客様のビジネスニーズの変化に対応して、常に先見性を持って革新を続けてまいります。鈴与グループが、220年にわたり、時代の大きな変化に対応し、事業を継続し、また新たな事業分野を展開することができたのはまさにそのDNAにあります。

3. 我々の大切な財産は人財

鈴与シンワートの大切な財産は、鈴与グループのDNAを継承した人財です。企業は器であり、企業価値は社員一人ひとりの人財価値の総和です。人財価値は学びと経験により、無限に拡大します。社員が自ら学び、成長し、人財価値を高め、ビジネスの現場で自由闊達に活躍できる、健全で風通しの良い企業風土を醸成してまいります。

4. 情報サービス事業の提供価値

鈴与シンワートは、情報サービス企業として、今後ますますビジネス環境、社会環境の変化が加速する時代において、お客様のビジネスにおける様々なDX課題や新たな社会課題、ニーズに先進的IT技術をもって取り組み、課題解決を図ります。鈴与シンワートは、この激変の時代にこそ、事業活動を通じてお客様のベストパートナーとして貢献できるよう努めるとともに、事業活動における様々な課題解決を通じて、新たな社会的価値や経済的価値を創造、提供してまいります。



代表取締役 社長執行役員

徳 田 康 行

Contents

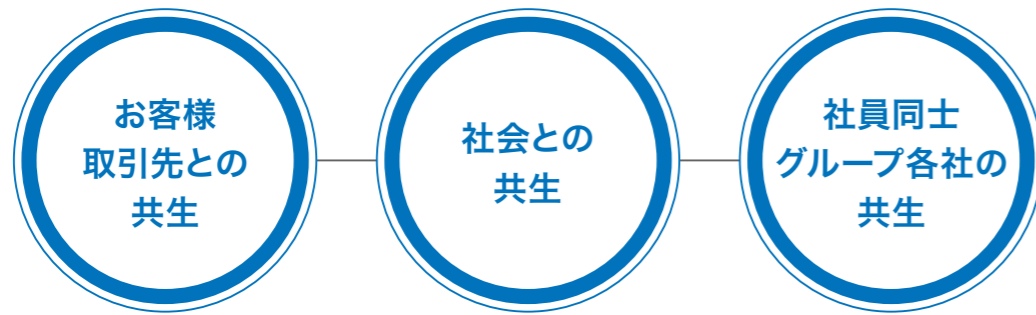
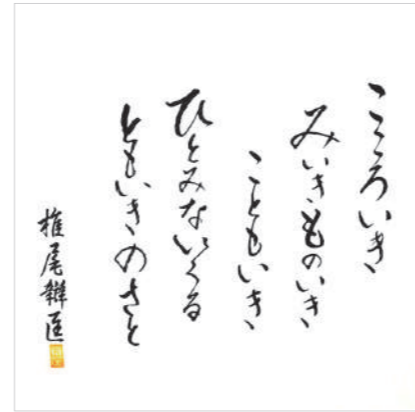
ごあいさつ	P2
常に「共生」の精神で信頼される企業を目指して	P4
サステナビリティ	P5
鈴与シンワートのソリューション領域	P6
沿革	P7
経営指標等の推移（連結）	P8
会社概要	P9
組織図	P10
グループ会社一覧	P11



常に「共生」の精神で信頼される企業を目指して

鈴与グループには、これまで脈々と息づいてきた「共生」という言葉があります。「共生」の歴史は、1922年（大正11年）に椎尾 弁匠 師（1876～1971）が起こした「共生運動」にさかのぼり、その基本的な考え方は「1つの個を大事にしていく。そしてこの個が本当に自立をし、自分自身で生きていく中から他との共生が生まれてくる」というものでした。

これを弊社グループに置き換えれば、「会社がひとつの企業として自立し、また、社員一人ひとりも個々の社会人として、真に自立し、社会活動を営む中で、我々と地域社会、お客様、取引先、そして社員相互間を結びつける精神的な基盤となる」ものです。今後も、私たちは「共生」の精神で、社会に、そして皆様に信頼される企業であることを目指していきます。



「共生」の精神を胸に、DXの推進を通してお客様と共に持続可能な社会の実現に寄与

鈴与グループは「共生」という言葉を経営理念に掲げ、1801年より220年にわたり事業を続けてまいりました。「共生」はもともと仏教用語で、過去、現在、未来という時間の流れの中で、自立した個が社会とつながり、共に生きていくという概念です。鈴与グループは、人と社会の安定的な持続、発展を念頭に、従業員、お客様、そして社会との「共生」の絆の下で事業を続けてきたと言えます。

今日、2030年までの世界共通の目標としてSDGs（持続可能な開発目標）、すなわち“将来世代のニーズを損なうことなく、現世代のニーズを満たす”ための開発目標への取り組みが、企業に強く求められています。このSDGsの考えは、まさに「共生」と合致する考え方です。

弊社は、SDGsを鈴与グループの経営理念を具現化するための目標ととらえ、その達成に向けて取り組むことを表明いたします。

サステナビリティ

鈴与グループにおいて弊社は、情報サービス企業として、お客様のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に注力しており、本業を通してサステナビリティへの取り組みを適進してまいります。さまざまな情報システムを組み合わせることでお客様の経営課題の解決を図るDXは根源的に社会課題の解決に貢献するものと考えます。





共生の理念に照らし、弊社は「将来どのような社会課題を解決する企業でありたいか」という“ありたい姿”を考え、「持続的に成長するために取り組むべき重要な課題」=重要課題（マテリアリティ）を特定しております。

3つの「共生」	E	S	G	マテリアリティ（重要課題）	マテリアリティ（重要課題）取り組みテーマ	関連する主なSDGs
社会との共生	E	S		1 DX推進によるサステナビリティの実現	<ol style="list-style-type: none"> お客様のDX推進による事業戦略支援 お客様のDX推進によるレジリエントな社会インフラへの寄与 お客様のDX推進による生産性向上、働き方改革の支援 お客様のDX推進による、CO₂排出の削減、資源削減などの環境負荷の低減 新たな価値を生む研究開発 パートナーシップによるイノベーションの推進 	
	E			2 脱炭素・資源循環 社会にむけた環境への配慮	<ol style="list-style-type: none"> 自社所有データセンター・オフィスの省電力活動及び再生可能エネルギーの積極活用 データセンター、オフィスでの省資源 	
		S	G	3 透明で責任ある経営	<ol style="list-style-type: none"> 教育・文化・地域支援の取り組み推進 コーポレート・ガバナンスの強化 コンプライアンスの徹底 リスクマネジメントの推進 公正な取引の確保 	
お客様 取引先との共生			G	4 情報セキュリティの向上と品質の追求	<ol style="list-style-type: none"> 高品質・高セキュアな製品サービスの提供 情報セキュリティの強化 	
	E	S	G	5 社会・環境にやさしく責任あるサプライチェーンの実現	<ol style="list-style-type: none"> ビジネスパートナーにおける責任ある事業活動の遂行 	
社員同士 グループ各社の共生		S		6 人権と多様な人財・働き方の尊重	<ol style="list-style-type: none"> 人的資本への投資・開発（教育、リスキル、キャリア開発） 人権の尊重とダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I） 健康経営 	

取り組みの詳細につきましては、弊社コーポレートサイトのサステナビリティページをご覧ください。

▶ <https://www.shinwart.co.jp/sustainability/>



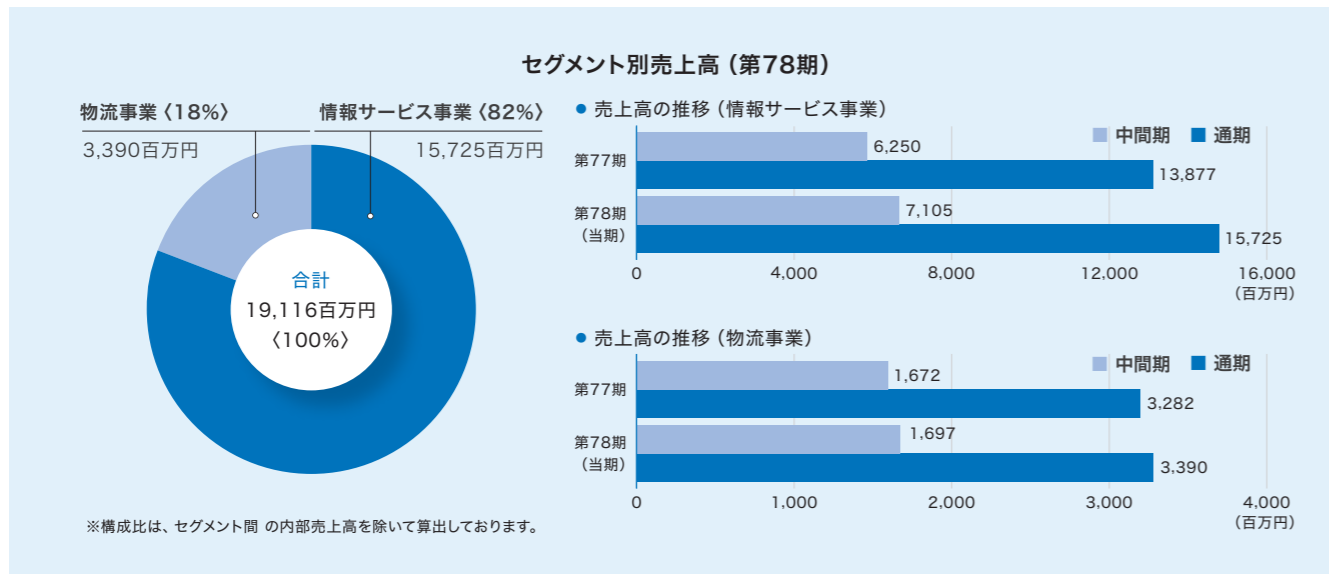
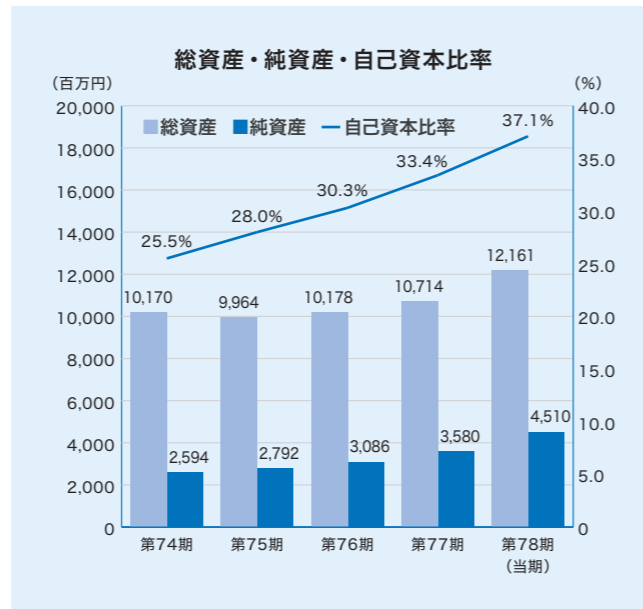
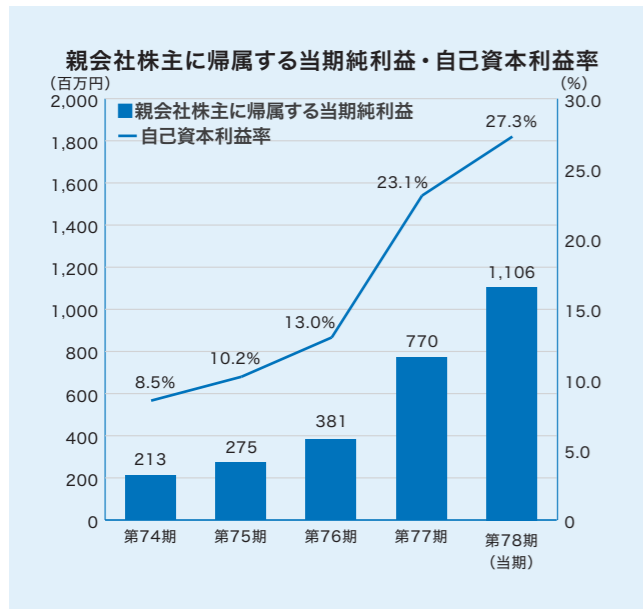
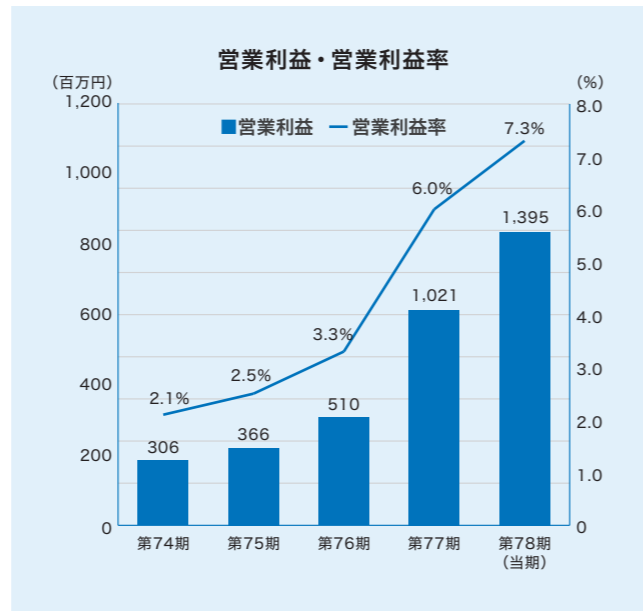
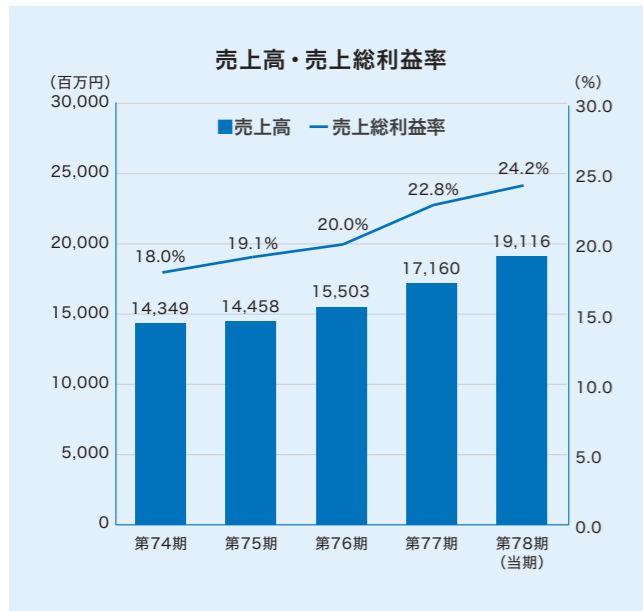
 <p>システム開発</p>	<p>社会基盤システムソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 福祉システム ● 年金システム ● 共済システム ● その他各種自治体システム 	<p>法人システムソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生産管理システム ● 販売管理システム ● 商品管理システム ● 倉庫・物流システム ● 車載システム 	<p>Webシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CMS ● ワークフロー ● グループウェア ● Webメール
 <p>HCMサービス</p>	<p>パッケージソリューション・BPO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人事・給与・勤怠ソリューション ● 電子給与明細クラウドサービス ● 電子年調申告クラウドサービス ● 人事・給与業務アウトソーシングサービス ● 電子人事申告クラウドサービス ● 財務会計ソリューション 		
 <p>データセンター&クラウドサービス</p>	<p>データセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベアメタルサーバ ● オンラインストレージ ● S-Port テレワーク・リモートPCサービス ● S-Port X (クロス) コネクト ● インターネット接続 ● ネットワーク構築/サーバ構築/プライベートクラウド構築 ● 監視・運用/セキュリティ 	<p>クラウドサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転前アルコールチェック&検温クラウドサービス ● 従業員エンゲージメント向上支援クラウドサービス ● 予約システム ● クラウド型フォーム作成ツール ● IaaS ● Web会議 ● Salesforce 	
 <p>コンサルティング</p>	<p>ビジネスITコンサルティング</p>		

鈴与シンワートが提供するサービス例

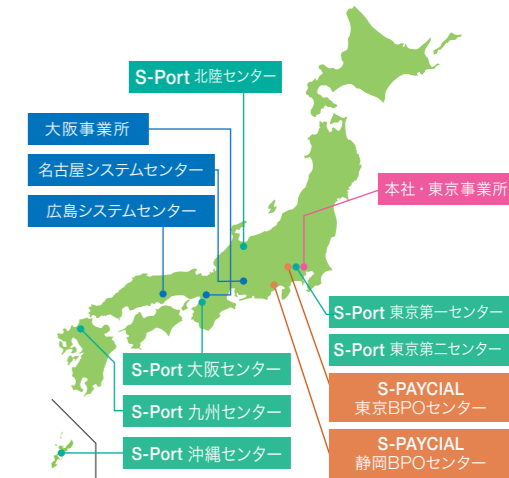
			
 <p>人事・給与業務アウトソーシングサービス</p>	 <p>「奉行クラウド」システム連携支援ツール</p>	 <p>データセンター&クラウドサービス</p>	
 <p>運転前アルコールチェック&検温クラウドサービス</p>	 <p>従業員エンゲージメント向上支援クラウドサービス</p>	 <p>予約システム</p>	 <p>クラウド型フォーム作成ツール</p>

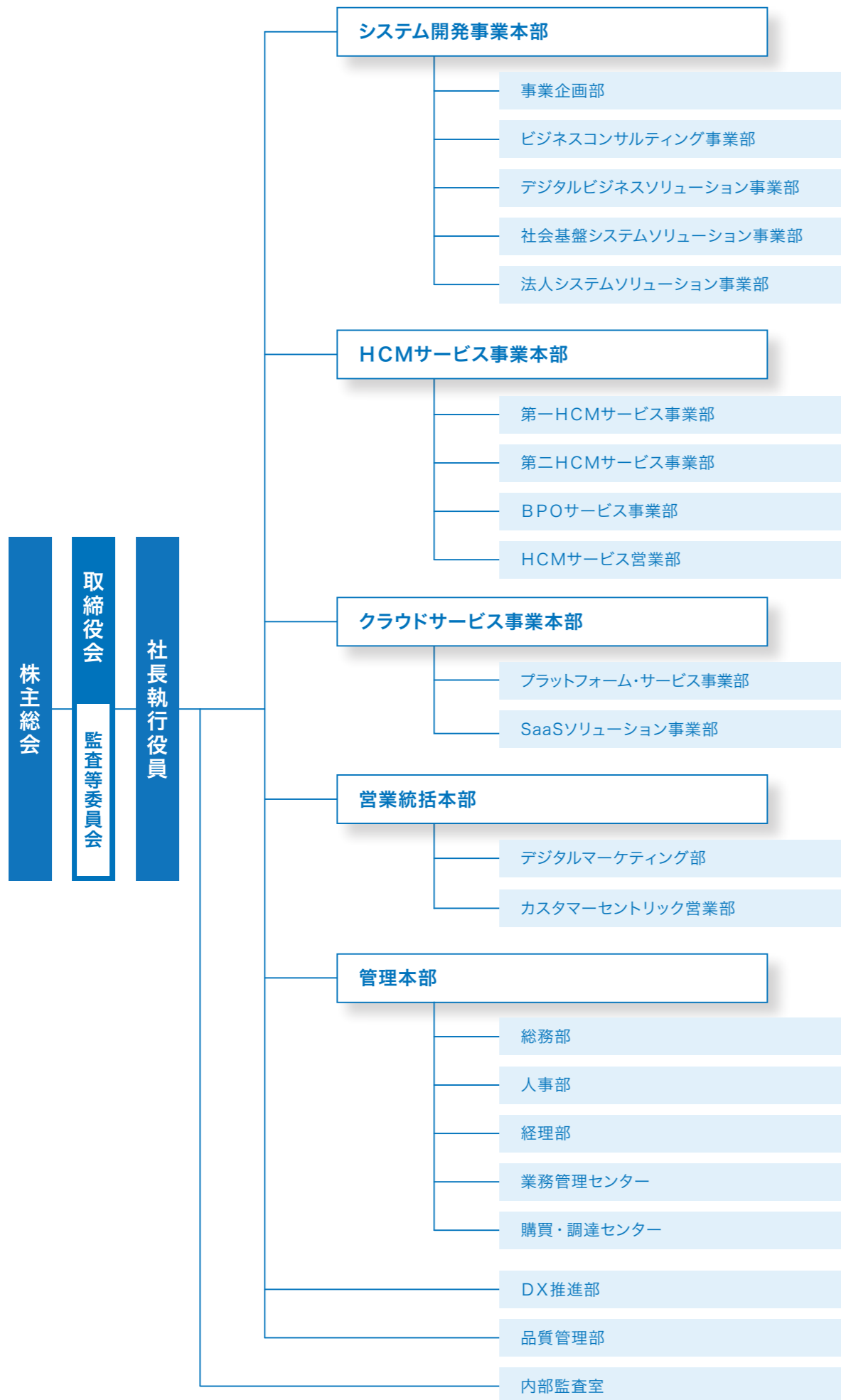
本会社案内に記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です

- 1947.05 セメント荷扱会社として資本金195千円で「新和運輸株式会社」を設立
- 1949.07 東和海運株式会社と対等合併
道路運送法による一般区域貨物自動車運送事業の免許を取得
- 1949.12 倉庫業登録
- 1950.12 倉庫証券発行の許可
- 1951.08 京浜港における港湾運送事業登録
- 1963.06 東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 1963.12 京浜港における一般港湾運送事業の免許を取得
- 1972.02 宅地建物取引業者の免許を取得
- 1975.06 「スリー・エス・シンワ株式会社」と社名変更
- 1989.06 東京都港区に芝浦倉庫竣工
- 1989.10 事業の多角化に伴い「株式会社シンワート」と社名変更
- 1990.11 川崎市川崎区に東扇島冷蔵倉庫竣工
- 1993.12 鈴与グループの一員となる
- 1994.10 「鈴与シンワート株式会社」と社名変更
- 1995.05 シンワ運輸埼玉株式会社（連結子会社）を設立
- 1997.11 川崎市川崎区に東扇島第二冷蔵倉庫竣工
- 1998.09 ソフトウェア開発を主たる事業とする株式会社フロイスの全株式を取得
- 1998.10 ソフトウェア開発を主たる事業とする株式会社システムナレッジを吸収合併し、情報サービス事業に進出
- 1999.10 株式会社フロイスを吸収合併し、情報サービス事業で関西地区に進出
- 2002.01 シンワ運輸東京株式会社（現・連結子会社）を設立
- 2003.02 ロジック株式会社及びロジック興産株式会社（2003年7月清算終了）の株式を取得
- 2004.09 ロジック株式会社の発行済株式85.16%を鈴与株式会社に譲渡（連結子会社ではなくなる）
- 2005.07 第三者割当により90百万円増資資本金7億65百万円となる
- 2005.11 エール情報システムズ株式会社の営業全部を譲受け
- 2008.05 データセンター営業開始
- 2008.11 シンワ運輸埼玉株式会社（連結子会社）を解散
- 2011.11 物流事業部門を鈴与シンワ物流株式会社（現・連結子会社）として分社
- 2012.05 GBR株式会社（連結子会社）の全株式を取得
- 2012.09 無担保社債3億円を発行
- 2015.03 無担保社債3億円を発行
- 2016.02 GBR株式会社のソフトウェアの開発、販売及び保守に関する事業を吸収分割により承継
- 2016.03 株式会社電通国際情報サービス（現・株式会社電通総研）を引受先とする
第三者割当により37百万円増資資本金8億2百万円となる
- 2016.03 GBR株式会社（連結子会社）を解散
- 2016.06 監査等委員会設置会社へ移行
- 2017.10 普通株式5株を1株に株式併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更
- 2021.07 ビジネス・デザイン・コンサルティング株式会社（現・連結子会社）の全株式を取得
- 2022.04 東京証券取引所の市場区分の見直しにより市場第二部からスタンダード市場へ移行
- 2024.12 株式会社インタークエスト（現・連結子会社）を株式交換により完全子会社化
- 2025.10 株式会社インタークエストのプロダクト販売に関する事業を吸収分割により承継



商号	鈴与シンワート株式会社 (Suzuyo Shinwart Corporation) [法人番号: 3010401014925]		
本店所在地	東京都港区芝4-1-23		
設立	1947年(昭和22年)5月29日		
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場(証券コード: 9360)		
役員	取締役 代表取締役 社長執行役員 徳田 康行 取締役 副社長執行役員 平野 文康 取締役 道田 隆典 取締役 執行役員 大川 正 取締役 大石 素久 取締役 吉田 芳之	監査等委員である取締役 取締役 監査等委員 佐藤 滋美 取締役 監査等委員 河合 健一 取締役 監査等委員 杉田 光秀	執行役員 常務執行役員 笠原 茂 常務執行役員 上野山 英樹 常務執行役員 村井 暁 常務執行役員 山地 互 執行役員 村上 信治 執行役員 鈴木 純和 執行役員 長野 浩久
資本金	8億225万円		
株主構成	鈴与システムテクノロジー株式会社、鈴与興産株式会社、鈴与ホールディングス株式会社、三井住友信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行、鈴与建設株式会社、株式会社清水銀行、株式会社静岡銀行、株式会社電通総研 他		
従業員数	880名(連結: 2025年3月31日現在)		
拠点	本社・東京事業所 〒108-0014 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル22階 TEL 03-5440-2800 FAX 03-5440-2827 大阪事業所 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-5-7 メットライフ本町スクエア8階 TEL 06-6260-7401 FAX 06-6260-7435 名古屋システムセンター 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-10-20 アーバンネット伏見ビル11階 TEL 050-5830-7560 FAX 052-232-1277 広島システムセンター 〒730-0051 広島県広島市中区大手町2-8-1 大手町スクエア7階 TEL 082-545-6333 FAX 082-545-6334		
連結子会社	鈴与シンワ物流株式会社、シンワ運輸東京株式会社、株式会社インタークエスト、ビジネス・デザイン・コンサルティング株式会社		
事業内容	コンピュータソフトウェアの受託開発・開発支援、ソフトウェア製品の導入支援・アドオン開発、ビジネスITコンサルティングサービス、人事給与を主体としたアウトソーシング事業、データセンター&クラウドサービス事業		
加盟団体	一般社団法人情報サービス産業協会 (JISA)、東京商工会議所、大阪商工会議所		
認証・許認可等	プライバシーマーク (JISQ15001)、品質マネジメントシステム (ISO9001)、情報セキュリティマネジメントシステム (ISO/IEC 27001)、ISMSクラウドセキュリティ認証 (JIP-ISMS517-1.0・ISO/IEC27017)、電気通信事業、労働者派遣事業		
URL	https://www.shinwart.co.jp/ コーポレートサイト https://logistics.shinwart.co.jp/ 物流ITコンサルティングサービスサイト https://saas.shinwart.co.jp/ クラウドサービス (SaaS) サイト https://s-port.shinwart.com/ S-Portサイト https://s-paycial.shinwart.co.jp/ S-PAYCIALサイト		





人と社会を豊かにするのは、幅広いグループパワーです。

220年の歴史の中で、鈴与グループは常に時代の変化に対応した事業展開を続けてきました。そして今日、国内、海外を合わせて140余社の関連企業を有するグループに成長しました。その分野は多種多彩。それぞれの事業が個性を発揮しながら、総合力で人々の暮らしを支えています。



グループ会社一覧

物流事業

鈴与(株) 鈴与通関グループ 山三石油運輸(株) 富士宮通運(株) 鈴与コンテナエンジニアリング(株) SUZUYO (THAILAND) LTD.	鈴与自動車運送(株) 鈴与海運(株) 清水運送(株) 鈴与シンワ物流(株) 鈴与液体物流サービス(株) DRAGON LOGISTICS CO., LTD	鈴与カーゴネットグループ 清水長崎運輸(株) 東海埠頭(株) 新星運輸(株) 鈴与御前崎荷役サービス(株) Suzuyo Mexico, S. de R.L. de C.V.	鈴与カーゴサービスグループ 鈴与オートテックサービス(株) 柏栄トランス(株) 清水ユナイテッドエージェンシー(株) (株) TUMIX Suzuyo America, Inc.
---	--	--	--

商流事業

鈴与商事(株) 井口エネルギー(株) 鈴与レンタカー(株) ベルファーム(株)	(株) イワタ 第一商事(株) 鈴与ホームパル(株) 鈴与エコプロダクツ(株)	S-net静岡(株) (株) 鈴与ガスあんしんネット (株) 巴商会 鈴与電力(株)	(株) NSコーポレーション 鈴与マタイ(株) 静岡塩業(株)
--	--	---	---------------------------------------

建設・ビルメンテナンス・警備事業

鈴与建設(株) 鈴与リニューアル(株)	鈴与三和建物(株) 鈴与コンストラクションホールディングス(株)	静岡ビルサービス(株)	鈴与セキュリティサービス(株)
------------------------	-------------------------------------	-------------	-----------------

食品事業

清水食品(株) 愛食客食品(浙江)有限公司	エスエスケイフーズ(株)	(株) ミヤカン	モンマルシェ(株)
--------------------------	--------------	----------	-----------

情報事業

鈴与シンワート(株)	鈴与システムテクノロジー(株)	(株) インタークエスト	アライズイノベーション(株)
------------	-----------------	--------------	----------------

航空事業

(株) フジドリームエアラインズ フジビジネスジェット(株)	(株) エスエーエス 鈴与スカイホールディングス(株)	(株) フジアビエーションシステムズ 鈴与エアポートサービス(株)	静岡エアコミュータ(株)
-----------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	--------------

地域開発・その他サービス事業

(株) ドリームプラザ (株) ベルキャリアール	鈴与興産(株) ベルメディカルケア(株)	鈴与マネジメントサービス(株) 鈴与ケアサービス(株)	中日本バンリース(株)
-----------------------------	-------------------------	--------------------------------	-------------